

月見の茶会



▲月見の茶会には400人以上の皆さんに参加していただきました

市内で商・工事業所などを展開する皆さんの交流を図ろうと、昨年から開催されている『月見の茶会』が、400人以上の参加のもと、逆井城跡公園で盛大に開催されました。

台風18号の影響により、中秋の名月より一日延びた10月1日、月明かりの逆井城跡公園にかがり火がともされ、参加者はそれぞれの事業所のPRや商品の紹介などを活発に行っていました。

月見の茶会を契機として、事業所間の交流や地域産業の連携・協力により地域経済が活性化することが期待されています。

東日本大震災被災地訪問 自分たちにできることは？ 岩井中学校



▲被災地の状況を視察する岩井中学校の生徒の皆さん

岩井中学校の生徒たちが、夏休みを利用して東日本大震災の被災地を訪問してきました。生徒会が中心となって、『自分たちにできることは？』という問いかけのもとに参加者を募ったもので、34人の生徒が参加しました。

訪問先では、津波の恐ろしさや仮設住宅での生活の様子を聞いたり、被災したまま時間が止まったままになっている現状などを視察したとのことでした。

参加者たちは、自分の目で見たもの、感じたことを友だちや家族など、できるだけ多くの人に伝えていきたい、と話していました。視察の成果は、10月に開催される文化祭でも発表されるとのことです。

猿島地域の赤水収束報告会



▲赤水の収束宣言をする吉原市長

猿島地域の赤水収束報告会が、9月27日、猿島公民館で開催されました。報告会は猿島地域の区長会の皆さんが主催したもので、事業の推進にご協力をいただいた細川元厚生労働大臣、柳田衆議院議員や市議会議員、行政区の役員の皆さんなどが出席し、赤水の収束を祝いました。

配水管の老朽化などにより水道水が濁ってしまう赤水是、平成18年ごろから頻発するようになりましたが、市では事業計画を大幅に前倒しして対応を進めてきました。

このほど、赤水対策のために計画された配水管・給水管の工事もほぼ終了したことから、報告会で吉原市長から赤水の収束が宣言されました。今後も市では、安全安心な水道水の供給に努めていきます。

中学生20人が海外研修へ



▲現地の学生との交流を深めました

市内の中学生20人が夏休みを利用してオーストラリアで研修を行ってきました。

中学生海外研修事業は、豊かな国際感覚と日本人としての自覚と責任感を身につけ、国際社会に貢献できる人材の育成を目的としたもので、中学2・3年生を対象に実施されています。

研修の中心となるホームステイでは、現地の学校にも通学し、現地の生徒と一緒に授業を受けました。今回の研修の研究報告は、11月16日～18日まで開催される坂東市作品展に出品されますので、ぜひご覧ください。